

京都府薬剤師会 会員のみなさまへ

新型コロナウイルスによる感染が東京都を始めとする首都圏を中心に再燃し、京都府においても、連日、複数の新規感染者が確認される中、会員のみなさまにおかれましては、薬局や病院などそれぞれの職場において、医療従事者としての責任と誇りを持ち、新型コロナウイルス感染症の拡大抑制に向け、薬剤師としての使命を遂行していただいていることに敬意を表します。

とりわけ、府民に対する正しい知識の啓発、受診が困難になりつつある中での電話等を用いた服薬指導、医薬品の自宅等への配送、入院システムの変更に伴う医療機関以外の宿泊施設で療養する感染者に対する対応、困難な状況下における薬学生の実習受入れなど、この間の取り組みに深く感謝いたします。

そのような中、我が国においては「with コロナ」という新しい生活様式が提唱されているものの、現在、京都府においては、府独自基準の警戒基準が適用されており、我々薬剤師は、引き続き、最大限の緊張感を持って対応していく必要が有ります。

つきましては、当会としては、京都府、京都市等ともより一層緊密に連携し、府民や会員のみなさまへの迅速・的確な情報発信や、マスクや消毒用アルコール等の感染防止資機材の安定確保など、コロナ禍終息を最重要・最優先課題として取り組んでまいります。

会員のみなさまにおかれましても、国の第二次補正予算において、病院や薬局における感染防止に対する予算が認められましたので、そういったものも有効にご活用いただき、自らの地域や職場に適した感染防止の体制を構築していただきますとともに、万が一、病院や薬局等に勤務する医療従事者から感染者が発生した場合の影響の大きさを今一度お考えいただき、外出や外食等を始め、あらゆる場面で節度の有る行動に努めていただきますよう、お願い申し上げます。

緊急事態宣言が解除された時期とは一変し、コロナ禍との戦いは長期化も予想されることから、くれぐれもお体をご自愛いただきつつ、いかなる状況下においても、府民のみなさまの医薬品や健康の相談窓口としての役割が果たせるよう、共にがんばっていきましょう。

令和2年7月27日

一般社団法人 京都府薬剤師会
会長 河上 英治